

くじらのつばやき

Oh! すてき 素敵☆



令和5年 10月 13日 中央小学校 学校だより No.11

すばらしい運動会となりました! ご来校ありがとうございました



「あきらめず 全力で最後までやり切ろう」のスローガンのもと、10/7(土)に運動会を行いました。今年度は、ご家族の方に加え、多くの地域の方々にも見ていただき、温かなご声援の中で、全学年そろって開催することができました。また、良く晴れた暑い日となりましたが、児童席には全てテントを張り、水分補給タイムとなる休憩を計画的にはさんで対応しました。保護者の皆様には、撮影場所でのすみやかな交替や譲り合いへのご理解をいただきました。おかげさまで、子どもたちは最後まで一杯頑張り抜くことができました。ご声援ありがとうございました。学校は「子どもたちの夢を広げ、伸びを褒め、未来を拓く場所」でなければならないと考えています。今後とも、できるだけ学校を開き、児童の様子を見ていただけるようにしてまいります。PTA役員の方々には、さまざまな運営に携わっていただき、ありがとうございました。



かいがいしき
開会式



こうがくねんだんたい
高学年団体



ていがくねんだんたい
低学年団体



ちゅうがくねんひょうげん
中学年表現

ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちょうさ けっか 全国学力・学習状況調査の結果から

ことし がつ にち ぜんこく ねんせい たいしょう おこな
今年4月18日に全国の6年生を対象に行う
「全国学力・学習状況調査」を実施しました。

子どもたちの学力や学習状況を把握・分析し、その改善を図るとともに、学校における子どもたちへの教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。
結果から見えてきた本校児童の学力の傾向について概要をお知らせします。

きょうか かん ちょうさ ほんこう へいきんせいとうりつ 教科に関する調査…本校の平均正答率について

2教科(国語・算数)とも、正答率は全国平均・県平均を上回りました



【国語】・・・全国平均と比較して、「高い」結果でした

「書くこと」「情報の扱い方に関する事項」「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域で全国平均を上回っています。漢字・文章表記等の基本的な知識や技能および、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つける力が定着しています。因果関係をとらえる力もついています。一方で「話すこと・聞くこと」の領域では全国平均を少し下回っていました。話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえ、立場や意図を明確にしながら自分の考えをまとめていくことが苦手であることが分かりました。

<国語について 今後の対応>

朝の学習や宿題、授業等において、文章の構成をとらえたり、図表・データ等との関連をふまえて考え合う機会をもち、読む力を高めるとともに、自分の考えをまとめて話したり書いたりするようにします。また、条件やテーマを意識して表現する（話す・聞く・書く）活動を引き続き行っていきます。

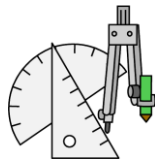


【算数】・・・全国平均と比較して、「高い」結果でした。

「数と計算」「変化と関係」「データの活用」において全国平均を上回り、「図形」において全国平均をわずかに下回る結果となりました。特に、「数と計算」領域のほとんどの問題において全国平均を上っており、計算の仕方を理解したり必要な数値を選んだりする力がついています。一方、「図形」領域の問題において、関係性を判断し、文章で回答することが苦手であることが分かりました。

<今後の対応>

具体物进行操作する体験活動を取り入れることで量感を育てていきます。また、実際に図形を作図させるなど、違いを比較させた上で考える経験を積んでいきます。また、じっくりと考えなければ答えが出ないような複合的な問題に取り組み、答えを出して終わりではなく、なぜその式になるのかなど、答えを導き出すまでの過程に重点をおくとともに、それらを筋道立てて説明できるよう指導していきます。



【児童質問紙の結果から】

基本的な生活習慣である『朝食を毎日とる』『毎日同じ時刻に起きる』については、全員が肯定的な回答でした。また、『5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか』についても全員が肯定的な回答であり、子どもたちの学習意欲の高まりについては、学校のみでなく保護者の皆さまにも是非褒めて承認していただきたいと願います。

また、全ての子どもたちが『いじめはどんな理由があってもいけない』とっており、『人が困っているときはすすんで助ける』と回答しています。ただ、『困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる』に対する肯定的回答は75%にとどまりました。学校として、相談しにくいと感じている25%の子どもたちへのケアや教育相談の在り方を課題としてとらえ、速やかに取り組んでいきたいと思えます。

読書に関する質問『読書は好きですか』に対し、約三分の一が否定的回答で、全国平均および県平均をおおきく下回りました。一日の読書時間が10分以下である子どもたちが半数いる現実もわかりました。学校職員・学校図書館司書・図書ボランティアの力を結集し、保護者様の協力を受けて家庭読書にも取り組んでおりますが、なかなか成果は出にくい状況です。新たな視点で、改善策を図りたいと思えます。



ありがとうございます！

図書ボランティア
読み聞かせ・環境整備



～「みんなが認められ、活躍できる学校、保護者や地域の方々とともに歩む学校」を目指して。～

